

授業科目名	生活と水環境	科目コード	G3202L02
英文名	Lifestyle and Water Environment		

科目区分	環境デザイン専攻科目 - 生活環境		
------	-------------------	--	--

職名	准教授	担当教員名	高橋 ゆかり
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	火曜日	時限	1限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>水は、生活にとって必要不可欠なものであり、また、富山県にとって大きな財産でもある。この大切な水について、基本的性質を知り、生活する上で安全な水の維持管理や水の活用方法について考える。生活水についての基礎的な知識として、自然水の性質、水質汚濁と環境基準、さらに生活排水の汚染の実態、上下水の浄化システム、新しい水の活用等について説明する。（担当教員：実務経験あり）</p>			
-------	--	--	--	--

キーワード	富山の名水	ミネラルウォーター	水の科学	水と暮らし	資源としての水
-------	-------	-----------	------	-------	---------

到達目標	生活と水について、性質、資源としての重要性を説明できる（40％）。
	飲料水としての水質基準や生活排水の環境基準など安全な暮らしを維持するための環境基準について説明できる（30％）。
	富山の水環境や世界の水事情について説明できる（30％）。

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	環境デザインに関する専門性の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	2020年度オリエンテーション くらしと水のかかわりについて述べる。富山県と水とのかかわりを理解する。	
	【予習】	
	【復習】自分のくらしと水の関わりについて最も関心の高い点をまとめる	30分
第2回	水と生体（高橋） 水は生命活動において不可欠なものであり、さまざまな役割を担っている。 生命と水について、健康面を中心として学ぶ。	
	【予習】健康と水に関して、印象に残っている体験をまとめる	
	【復習】健康と水の関わりで重要な点を整理する	30分
第3回	くらしと水（尾畑） 使う水、おいしい水、富山の名水、飲む水	
	【予習】各自の家庭の水使用量を調べる	15分
	【復習】水の利用について、まとめる	60分
第4回	飲む水（尾畑） おいしい水、富山の名水、名水百選 など	
	【予習】富山の名水地についてHP調べる	30分
	【復習】実際に2か所名水の地を訪ね、特色を調査する。（課題）	60分
第5回	ミネラルウォーターと飲料水（尾畑） ミネラルウォーターの生産、将来	
	【予習】富山で製造されているミネラルウォーターを調査する	
	【復習】店頭に並ぶミネラルウォーターについて実際にどれくらいの種類が販売されているか調べる	
第6回	水の基本的性質、水の特異性（高橋） くらしの中で関係する水の物理化学的性質や水の特異性について考える	
	【予習】高校時代の理科のテキストなどで水の性質を復習しておく	15分
	【復習】くらしの自然現象の中で水に関わる点をまとめる	20分
第7回	浄水場のしくみと水質基準（高橋） 世界の水道について、日本の水質基準について	
	【予習】	
	【復習】浄水のしくみについて復習する	
第8回	下水道の歴史と処理のしくみ（高橋） 日本の下水道整備の歴史、現在の処理方法について	
	【予習】自宅の下水処理状況を調べる	
	【復習】今後の水利用についてどのようにすべきかまとめる	

第9回	環境水の水質～排水基準と環境基準（高橋）	
	【予習】	
	【復習】	
第10回	新しい水の利用（高橋） 水について、様々な処理方法、利用について	
	【予習】	
	【復習】新しい水の利用について現状を説明し、今後の開発に向けた提案する	30分
第11回	地球上の水の姿、地球環境問題と水	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	世界の水事情（高橋）	
	【予習】世界の水事情について、地域ごとにまとめる	
	【復習】世界の水事情と日本の現状を比較する	
第13回	世界の水事情（グループワーク）（高橋）	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	将来の水需要（高橋） 水循環から見た将来の水需要を様々な視点から推定する	
	【予習】	
	【復習】水利用の在り方について考える	30分
第15回	総括、質問、意見交換を通して今後の水循環や資源の保全について考える	
	【予習】	
	【復習】富山県の水資源の今後について、調査しまとめる	60分
第16回	試験	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	授業への積極的取り組み姿勢、授業内に実施する課題（40％）期末試験（40％）、レポート（20％）		
使用資料 <テキスト>	授業中にプリントを配布する	使用資料 <参考図書>	令和元年度版日本の水資源の現状（国土交通省）
授業外学修等	授業外における課題学習については、各家庭における水使用の調査、名水現地調査を実施し、レポート作成、その他に予習・復習の厳守		
授業外質問方法	授業終了後または電子メール【高橋（y-takahasi@tuins.ac.jp）もしくは尾畑（obata@tuins.ac.jp）】		
オフィス・アワー	金曜日3時限（尾畑）438研究室、月曜日4時限（高橋）440研究室		